

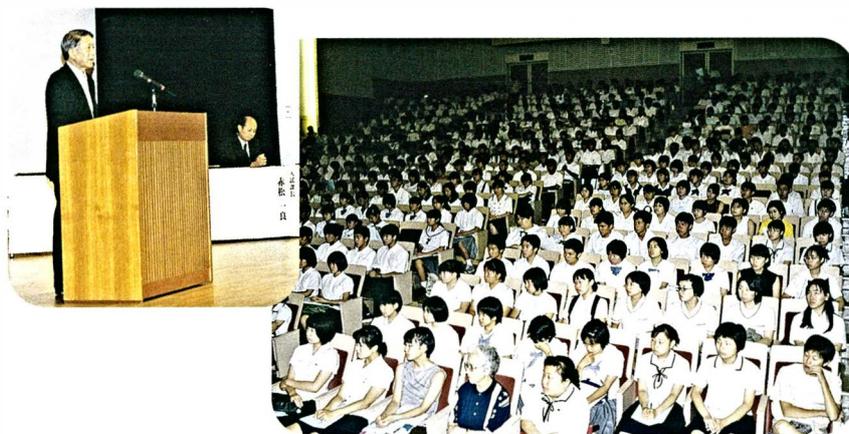


(題字 時澤 貢 学長)

第416号
(平成11年8月号)

8月のトピックス

◇3日 大学説明会を開催



▲ 挨拶する時澤学長(上)と満員の黒田講堂大ホール(下)

◇9日 富山県との懇談会を開催



▲ 懇談に先立ち時澤学長から挨拶

◇21~22日 親子フェスティバルを開催



▲ 目の不自由な子供たちの粘土像展

目 次

関係法令	3	◆ 平成11年度事務系職員英会話（初級）研修 を実施	10
諸 会 議	3	◆ 東海・北陸地区国立学校等教室系技術職員 合同研修を実施	11
学 事		◆ 公開講座「いろいろな流れの科学—イメー ジング—」を開講	11
◆ 平成11年度教育改善推進費（学長裁量経費） 採択結果	3	◆ 海外渡航者	12
人 事 異 動	7	職 員 消 息	
学 内 諸 報		◆ 新任者住所	14
◆ 富山大学説明会を開催	8	◆ 住所変更	14
◆ 富山県と富山大学との懇談会を開催	9	◆ 訃 報	15
◆ 平成11年度学校図書館司書教諭講習を実施	9	主 要 行 事	17
◆ 地域開放事業「富山大学親子フェスティバル」 を開催	10	お 知 ら せ	
		◆ 人事院勧告の概要	18



▲ 地域開放事業「親子フェスティバル」を支えた
ボランティア（教育学部学生）の皆さん

関 係 法 令

(省 令)

- 学校教育法施行規則の一部を改正する省令 (34)
(平成11. 8. 31 官報号外第168号)
- 学校教育法施行規則等の一部を改正する省令 (35)
(同上)

(告 示)

- 平成11年度における学芸員の資格認定を実施する件
(131) (平成11. 8. 2 官報第2679号)
- 大学院及び大学の専攻科の入学に関し大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定の一部を改正する件 (160) (平成11. 8. 31 官報号外第168号)

諸 会 議

第9回将来計画委員会 (8月2日)

(審議事項)

- (1) 本学の将来構想・特色について
- (2) その他

第118回構内交通対策委員会 (8月26日)

(審議事項)

- (1) 五福地区交通安全会について
- (2) その他

第117回構内交通対策委員会 (8月10日)

(審議事項)

- (1) 五福地区交通安全会について
- (2) その他

学 事

平成11年度教育改善推進費(学長裁量経費)採択結果

① 教育内容・体制の改善充実のための経費

(単位：千円)

部 局 名	プ ロ ジ ェ ク ト 名	プロジェクトの代表者	採択金額
人 文 学 部	SCS・GISを取り入れた教育方法・体制の改善充実のための研究・調査	人文学部長 鈴木敏昭 教授	1,748
人 文 学 部	ボランティア団体・NPO (非営利組織) へのインターンシッププログラムの開発による実習活動と大学教育との有機的カリキュラムの構築	筒井洋一 教授	1,800
教 育 学 部	教育学部シラバス管理システム制作	教育学部教務委員会委員長 宮崎州弘 教授	2,100
附 属 学 校	障害児教育指導法の推進一個に応じた指導の追求一	附属養護学校副校長 佐藤鉄朗	677
附 属 学 校	幼児教育における園環境についての研究	附属幼稚園長 長谷川総一郎 教授	1,065

理 学 部	理学部就職指導体制の改善・充実	理学部長 廣岡公夫 教授	1,811
理 学 部	課題探求型人材育成に係る学生実験の改善と整備	理学部教務委員会委員長 平井美朗 教授	2,725
工 学 部	工学部学生インターンシップ	工学部教務委員会委員長 森田弘之 教授	475
工 学 部	視覚化教材資料を用いることによる授業方法改善の推進	工学部教務委員会委員長 森田弘之 教授	1,742
留学生センター	富山大学短期留学生用教育プログラムの充実による教育の国際化	留学生センター長 塩澤和章 教授	2,150
学 生 部	富山大学 SCS 利用案内作成	SCS 事業実施委員会委員長 久保文夫 教授	405
	11 件		16,698

② 教育研究の国際化、高度化・先端化、学際化のための経費

部 局 名	プ ロ ジ ェ ク ト 名	プロジェクトの代表者	採択金額
人 文 学 部	「文化的多様性」についての研究・教育を推進する国際交流プロジェクト	竹内 潔 助教授	360
教 育 学 部	高品質シート状材料の設計に関する基本力学特性の解析	諸岡晴美 教授	2,310
附 属 学 校	2002年新教育課程編成（総合的な学習）推進事業	附属中学校副校長 大澤 保	891
経 済 学 部	地方分権に伴う自治体行政の研究	萩野 聡 教授	825
理 学 部	化学物質の生物毒性についての新規な評価方法の開発に関する調査研究	金森 寛 教授 山田恭司 教授	2,445
工 学 部	海外留学システムの構築による教育研究の国際化に関する調査・研究	理工学研究科長 宮下 尚 教授	600
工 学 部	一般物理学研究所（ロシア）、ウルツバーグ大学（ドイツ）、ヒサ大学（イタリア）との学術交流	坂井純一 教授	550
水素同位体科学研究センター	水素同位体科学研究センター設立記念シンポジウム	水素同位体科学研究センター長 渡辺国昭 教授	62
機器分析センター	分析機器の共同利用の促進と分析機器・計測技術に関する情報収集	機器分析センター長 龍山智榮 教授	1,661
	9 件		9,704

③ 大学改革等に必要経費

部 局 名	プ ロ ジ ェ ク ト 名	プロジェクトの代表者	採択金額
教 育 学 部	学校教育法等の一部を改正する法律と教育学部改革に関する講演会	教育学部長 塚野州一 教授	46
工 学 部	外部評価の実施	工学部長 宮下 尚 教授	1,550
地域共同研究センター	産学官懇談会の開催に要する経費	地域共同研究センター長 女川博義 教授	1,100
総合情報処理センター	富山大学公式ホームページ維持管理プロジェクト	総合情報処理センター長 山西潤一 教授	3,007
企 画 室	教養教育に関する合宿研究会	教養教育委員会委員長 学長補佐 小澤 浩 教授	319
学 生 部	大学運営改善に係る講演会	教務委員会委員長 学長補佐 能登谷久公 教授	20
学 生 部	大学教育改善推進講演会	教務委員会委員長 学長補佐 能登谷久公 教授	40
庶 務 部 (人 事 課)	人事情報システムの導入	人事課長 山木宏明	4,000

庶務部 (庶務課)	大学運営改善に係る講演会	庶務課長 山本 宏	272
施設課	図面等の電子化, ネットワーク化による事務組織の効率化, 省力化	施設課長 芋野昭作	4,000
経理部	会計経理事務の一元化・集中化に係る情報システムの整備	経理部長 太田正信	4,059
	11 件		18,413

④ 積極的な地域との連携に必要な経費

部局名	プロジェクト名	プロジェクトの代表者	採択金額
理学部	カリキュラム改革及びインターンシップ実施に係る企業への調査研究	理学部教務委員会委員長 平井美朗 教授	445
工学部	高等学校への出張講座と工学部紹介	工学部長 宮下 尚 教授	1,440
生涯学習教育 研究センター	富山大学親子フェスティバル	生涯学習教育研究センター長 米田政明 教授	1,009
環日本海地域 研究センター	環日本海地域研究センター国際学術シンポジウム	環日本海地域研究センター長 丹羽 昇 教授	2,583
環日本海地域 研究センター	環日本海環境保全国際フォーラム in TOYAMA '99	環日本海地域研究センター長 丹羽 昇 教授	2,238
	5 件		7,715

⑤ 特色ある大学づくりに必要な経費

部局名	プロジェクト名	プロジェクトの代表者	採択金額
工学部	工学部学力別クラス編成への試行・調査	工学部教務委員会委員長 森田弘之 教授	804
附属図書館	ヘルン文庫和装本画像データベース検索システムの開発	附属図書館長 小谷仲男 教授	1,466
放射性同位元素 総合実験室	放射線及びアイソトープの取扱に係る基礎的な教育教材の開発	放射性同位元素総合実験室長 菅井道三 教授	417
庶務部 (庶務課)	富山大学懇談会	庶務課長 山本 宏	727
	4 件		3,414

⑥ 若手研究者育成に必要な経費

部局名	プロジェクト名	研究者	採択金額
理学部	数論アルゴリズムの並列化とその実装	木村 巖 助手	700
理学部	無脊椎動物の光受容の分子メカニズムの研究	成田欣弥 助手	700
理学部	島弧火山のマグマ供給系の時間的進化に関する研究	石崎泰男 助手	700
理学部	コナラ属堅果の温度とサイズ変異が発芽・成長に及ぼす影響に関する研究	和田直也 助手	700
工学部	Ge基板表面上におけるInとSbの交互吸着構造に関する研究	森 雅之 助手	700
工学部	有機電界発光素子のパルス駆動時における発光スペクトルの挙動の検討	中 茂樹 助手	700
工学部	柔軟波動面を持つ蠕動運動型リニアフィードの研究	笹木 亮 助手	700
工学部	Super Baseチアザインの合成とその特殊機能の開拓	藤井孝宜 助手	700

工 学 部	省エネルギー型難加工性高比強度合金製造法の開発	松田健二 助手	700
	9 件		6,300

⑦ 教育上必要となる基本的設備のための経費

部 局 名	プ ロ ジ ェ ク ト 名	プロジェクトの代表者	採択金額
教 育 学 部	マルチメディアによる創造的なコンテンツ作成支援システム	古川政明 教授	4,327
経 済 学 部	社会科学系学生の情報リテラシー教育推進に関わる環境整備	経済学部情報処理委員長 小倉利丸 教授	2,538
理 学 部	理学部講義室のAV機器の設置及び電子掲示板の設置	理学部長 廣岡公夫 教授	8,400
工 学 部	生命工学講座遺伝情報工学分野新設に伴う設備の充実	磯部正治 教授	7,992
附属図書館	データベースサーバシステム	附属図書館長 小谷仲男 教授	9,430
地域共同研究センター	夢大学用空間立体画像の生成装置の購入	地域共同研究センター長 女川博義 教授	4,788
留学生センター	留学生センター日本語教育CAIシステム設備の充実	留学生センター長 塩澤和章 教授	3,270
廃液処理施設	学内排水の自主監視体制の確立	廃液処理施設長 長谷川 淳 教授	10,144
	8 件		50,889

	合計 57 件		113,133
--	---------	--	---------

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
採 用	11. 8. 30	松井 輝代		臨時用務員（教育学部炊婦）
	〃	堰免 芳子		〃 （ 〃 ）
	〃	仲谷千鶴子		〃 （ 〃 ）
	〃	柳瀬 珠美		事務補佐員（附属図書館情報管理課）
	11. 9. 1	出原 節子		助教授 留学生センター
	〃	深澤のぞみ		〃 〃
	〃	近藤 俊彦		事務補佐員（附属図書館情報サービス課）
	〃	高山 恭一		〃 （ 〃 ）
	〃	稲葉 智裕		〃 （ 〃 ）
	〃	甲斐 英高		〃 （ 〃 ）
	〃	中根 一剛		〃 （ 〃 ）
	〃	加藤 奏		〃 （ 〃 ）
	〃	本江 隆典		〃 （ 〃 ）
	〃	中山 拓也		技術補佐員（総合情報処理センター）
	〃	沖野 浩二		〃 （ 〃 ）
	〃	園田 敦		〃 （ 〃 ）
	〃	湯辺美由紀		〃 （ 〃 ）
	〃	高橋 純		〃 （ 〃 ）
	〃	立川 智之		〃 （ 〃 ）
	〃	布村 紀男		〃 （ 〃 ）
〃	早河 秀章		〃 （ 〃 ）	
昇 任	11. 9. 1	濱田 美和	講 師 留学生センター	助教授 留学生センター
臨時的任用	11. 8. 11	高松 典子		教育学部会計係（～12. 3. 31）
辞 職	11. 8. 10	高松 典子	事務補佐員（教育学部）	辞職
育児休業	11. 8. 11	室 智子	教育学部会計係	育児休業（～12. 3. 31）
死 亡	11. 8. 2	西塚 典生	教 授 工学部（電気電子システム工学科通信制御工学）	死亡（公務外）

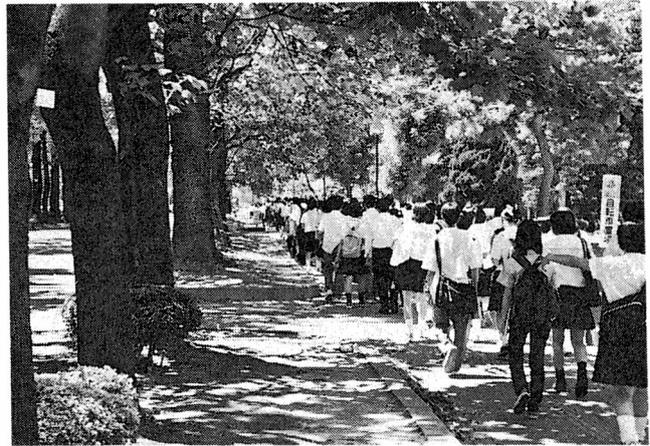
学 内 諸 報**富 山 大 学 説 明 会 を 開 催****— 富山大学会場 —**

去る8月3日(火)に本学を会場(黒田講堂等)として富山大学説明会を開催しました。この説明会は、大学進学を目指す高校2年生及び3年生を対象に、本学の入試内容や教育内容などについての理解を得ることを目的として毎年開催しており、今年で12回目の開催となりました。

近年は、夏休み期間中に志望大学を見学することが定着したことから、富山県をはじめ、石川県など近県はもちろんのこと、遠くは宮城県や岡山県などからの参加者もあり、今年は昨年より約100人多い809人の参加者がありました。

当日は、午前は黒田講堂において、時澤学長の挨拶をはじめ、本学の概要や平成12年度入試の説明、大学紹介ビデオの上映が行われ、午後からは希望する学部に分れて、模擬講義や実験室の紹介などを行いました。

参加した高校生たちは、進路決定の参考にと、終始熱心に教職員の説明に聴き入っていました。



▲ 全体説明会終了後、学部会場に向かう高校生

— 名古屋市会場 —

今年で7回目となる学外での大学説明会を去る8月6日(金)に名古屋市内で開催しました。

当日は、午前には高等学校の進路指導担当教諭を対象とした説明を行い、午後からは本学への進学を希望する高校生及びその保護者などへの説明を行いました。

説明会では、大学概要及び各学部の説明、また平成12年度入試の説明、大学紹介ビデオの上映(午後の部のみ)の後、質疑応答及び個別相談を行いました。

質疑応答や個別相談では、来年度の入試概要や各学部の特徴などについて活発な意見交換が行われました。



▲ 受験希望者との個別懇談

富山県と富山大学との懇談会を開催

本学では、8月9日(月)「富山県と富山大学との懇談会」を事務局大会議室において開催しました。この懇談会は、本学が「地域に根ざし、地域に開かれた大学」を目指し、地域との連携協力を推進するために、富山県の高等教育機関担当官との意見交換の機会として設けられたものです。

今回は、「富山大学の現状と諸課題について」、「平成12年度概算要求について」及び「地域との連携協力について」を協議するため、富山県から江畑総務部長ほか7名と、本学から水上事務局長ほか7名が出席して行われました。

開催にあたり、時澤学長から、大学を取り巻く社会情勢、本学の現状と課題及び大学改革の取組状況などについて報告があり、本学が今年開学50周年を迎えることから、これまで本学が果たしてきた役割を振り返りながら、

地域にある大学として今後の進むべき方向について、忌憚のない意見交換をしていただきたい旨挨拶がありました。

引き続き行われた懇談は、大学改革への取組み、国立大学の今後の方向性など多方面にわたるものとなり、中でも環日本海地域研究センターの省令化や人材の確保について本学に対する要望も数多く出されました。

懇談会は、予定時間を大幅に超えるほど活発なものとなり、大学と地域との連携を推進することが再確認されるなど相互理解を深めることができました。

なお、この懇談会は、今後継続して実施することとし、富山県と本学が交互に開催していくことになりました。

また、懇談会終了後、黒田講堂、附属図書館ヘルン文庫及び地域共同研究センターにおいて、施設見学が行われました。



▲ 挨拶する江畑富山県総務部長



▲ ヘルン文庫を見学する富山県関係者

学校図書館司書教諭講習を実施

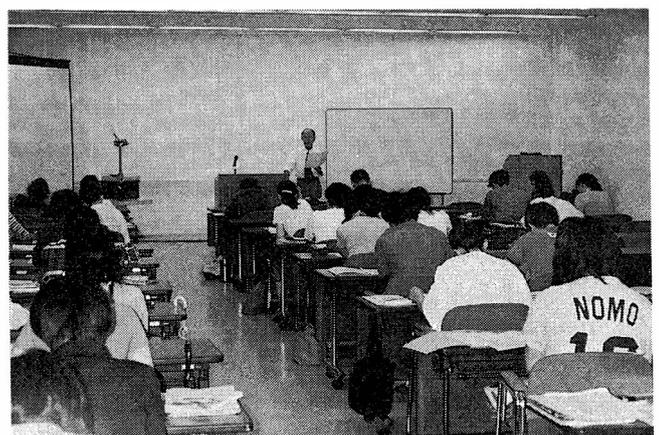
去る7月28日(木)から8月12日(木)までの土・日曜日を除く12日間、黒田講堂会議室を主会場として平成11年度学校図書館司書教諭講習が行われました。

この講習は、学校図書館の専門的職務に携わる司書教諭を養成するため、文部大臣の委嘱を受けて実施しているもので、本学としては平成5年度から実施し、今回で7回目を数えます。

本年度は、136人の参加者があり、その内訳は、現職教諭92人、学生(3年次以上)28人、その他16人でした。

受講者たちは、猛暑にもかかわらず学校図書館司書教諭の資格取得に向けて、熱心に講義を受けていました。

なお、講義の内容等は、次のとおりです。



▲ 静粛な講習会場(黒田講堂会議室)

月日	時間	9	10	11	12	13	14	15	16	17	講 師
7月28日(水) 29日(木) 30日(金) 8月2日(月)	<受付> 8:30~8:45 <連絡事項> 8:45~9:00		読書と豊かな人間性			昼休み		読書と豊かな人間性			富山大学教育学部 教授 佐々木 浩 助教授 呉羽 長
8月3日(火) 4日(水) 5日(木) 6日(金)	<受付> 8:30~8:45 <連絡事項> 8:45~9:00		学校経営と学校図書館			昼休み		学校経営と学校図書館			富山女子短期大学 非常勤講師 村上 和子
8月9日(月) 10日(火) 11日(水) 12日(木)	<受付> 8:30~8:45 <連絡事項> 8:45~9:00		学校図書館メディア の構成			昼休み		学校図書館メディア の構成			富山大学附属図書館 専門員 滋野 康雄 情報管理課 山田 正芳 情報サービス課 吉田 恵吉

地域開放事業「親子フェスティバル」を開催

富山大学教育学部及び同生涯学習教育研究センターでは、去る8月21日(土)、22日(日)、同学部及び黒田講堂を会場として地域開放事業「富山大学親子フェスティバル」を開催しました。

この事業は、大学の地域開放と学生のボランティア体験の場にするを目的に、「親子マルチメディア教室」、「ものづくり(工作)教室」、「夏休み宿題質問コーナー」、「目の不自由な子供たちの粘土像展」など10種類を越えるイベントを実施し、教育学部学生98人がボランティアとなって、夏休みの期間中手作りで準備を進めてきたものです。

当日は、約1,400名を越える多くの親子連れなどが訪れ、夏休みの宿題で分からないところを質問したり、巨大迷路や紙すき・面白紙工作などに熱中したほか、「目の不自由な子供たちの粘土像展」の鋭い感覚に目を凝らすなど、残り少ない夏休みの一日を有意義に過ごしてい

ました。また、会場は、親子連れや学生に加えて、お孫さん連れのお年寄りの参加も多く、幅広い年齢の人々が子供達と共に1つのことに熱中しながら語り合い、ふれ合う姿があちこちに見られ、非常に和やかな雰囲気に包まれていました。



▲ 夏休み宿題質問コーナー

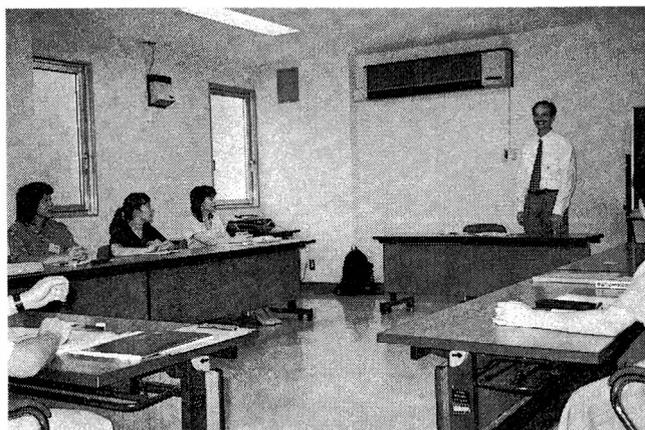
平成11年度事務系職員英会話(初級)研修を実施

事務局では、教育・研究の国際化に対応するため、事務系職員を対象に基礎的な英会話を習得させ、もって職務の円滑な遂行を図ることを目的に英会話(初級)研修を実施しました。

この研修には、事務系職員10名が参加し、イーオン富山校から日本人と米国人の専門の講師を招いて、平成11年6月15日(火)から8月26日(木)までの間に毎週火曜日と木曜日にそれぞれ1時間30分、延べ20回のレッスンが行われました。

閉講式では、担当講師から、受講生はいずれも熱心に積極的に勉強に励み、当初に比べて見違えるほど上達したとの評価があり、一方、受講生からは、さすが専門の先生、レッスンはいつも朗らかで親切で分かり易い。今

後の研修もこのように外部の専門の先生を招いて実施してほしいとの意見が多くあり好評な研修となりました。



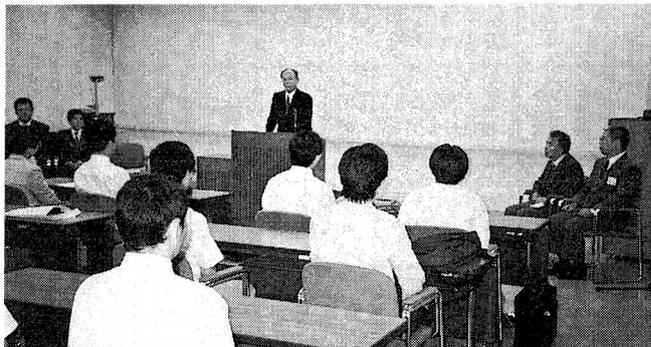
▲ レッスン風景

東海・北陸地区国立学校等教室系技術職員合同研修を開催

平成11年度東海・北陸地区国立学校等教室系技術職員合同研修（電気・電子コース）（教室系技術職員を置く地区国立学校等の共催）が8月25日(木)から27日(金)の3日間にわたり本学を当番校として開催されました。

この研修は、教室系技術職員として職務に必要な専門的知識及び技術等を習得することにより、地区全体の関係職員の資質向上を図ることを目的としており、今回は20名の参加者がありました。

初日は、水上事務局長から開会の挨拶があり、引き続き「サービスおよびセクシュアル・ハラスメントの防止」、
「光、高電圧に関する安全管理」、
「電子回路の基礎」

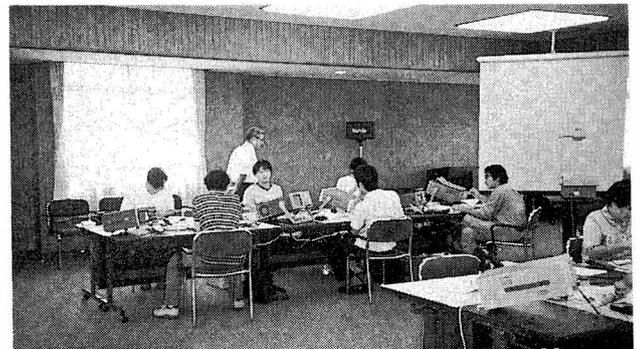


▲ 開講式で挨拶する水上事務局長

等の講義が行われ、2日目は、「三相信号発生回路の製作とインバータ回路への応用」と「強誘電体の履歴曲線の測定」の2つのコースに分かれて実習が行われました。

最終日は、午前の講義の後、午後から(株)スギノマシンにおいて企業見学があり、水を利用して金属やコンクリートを切断する実演や、水を利用したメスで内蔵の血管を残して組織を切開する実演に驚嘆の声が挙がりました。

閉講式では、受講者からこの成果を今後の職務遂行に十二分に生かしたいとの感想が多く、有意義な研修となりました。



▲ 実習風景

中学生を対象とした公開講座

『いろいろな流れの科学－イメージング－』を開講（工学部）

恒例の中学生を対象とした公開講座（体験学習）を去る7月27日(木)、28日(金)の2日間にわたって、工学部の研究室を会場として開講しました。

この公開講座は、本年度で5回目を数え、科学に興味を持つ中学生が多数参加する安定した企画へと成長しました。今回のテーマは「いろいろな流れの科学」、副題を「イメージング」として、県内各地から中学生41名が参加しました。

今回の企画の特色は、限られた時間内で、できる限り多くの研究に触れるという目的で、2研究室を1日ずつ体験することとしました。

講座内容は、次の7テーマでした。

- ① 富山湾内の水の流れ
－コンピュータで流れを診断－
- ② 身体のなかの情報の流れ
- ③ インターネットと情報の流れ
－インターネットを体験してみよう!!－

- ④ 熱と温度を見てみよう・測ってみよう
- ⑤ 泳ぐ微生物－微生物の泳ぎとその速さ－
- ⑥ 流れの可視化

－見えないものを見てみよう－

体験学習終了後に開催された、中学生諸君と担当の先生方との懇談会の中では、「大変興味深い研究に触れて感動した」、「次回も是非参加してみたい」などの発言がありました。



▲ 公開講座閉講式（7月28日。工学部大会議室）

(海) (外) (渡) (航) (者)

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	経済学部	講師	堀江典生	ロシア連邦	ロシアの地域間資金循環の分析に関する研究	11. 8. 1) 11. 8. 21
	理学部	助手	唐原一郎	アメリカ合衆国	加圧凍結装置を使って超薄切片及びトモグラフィー法を使った分裂準備帯の膜系の解析	11. 8. 1) 11. 9. 18
	理学部	助手	張 勁	アイスランド	第5回地球表層における地球化学国際シンポジウムに出席, 研究発表	11. 8. 8) 11. 8. 23
	理学部	教授	西村 格	中 国	「中国の草原地帯の変容と環境に対する影響への展望」についての調査・研究	11. 8. 10) 11. 8. 27
	理学部	教授	清棲保弘	カナダ アメリカ合衆国	第9回V.M.Goldschmidt Conferenceに出席, 研究発表	11. 8. 17) 11. 8. 28
	工学部	教授	池野 進	カナダ	第38回冶金学会会議「軽金属99」に参加, 研究発表, 資料収集	11. 8. 19) 11. 8. 29
	工学部	助手	松田健二	カナダ	第38回冶金学会会議「軽金属99」に参加, 研究発表, 資料収集	11. 8. 19) 11. 8. 29
	教育学部	教授	佐藤幸男	カコス諸島 ジャマイカ諸島 ケイマン諸島	極小国家の「国家的アイデンティティ」の社会的・経済的・文化的基盤に関する研究	11. 8. 20) 11. 9. 6
	教育学部	教授	田上善夫	カコス諸島 ジャマイカ諸島 ケイマン諸島	極小国家の「国家的アイデンティティ」の社会的・経済的・文化的基盤に関する研究	11. 8. 20) 11. 9. 6
	経済学部	助教授	中村和之	ロシア連邦	第55回国際財政学会で研究報告	11. 8. 21) 11. 8. 28
	経済学部	助教授	垣田直樹	ロシア連邦	第55回国際財政学会に出席, 研究報告	11. 8. 21) 11. 8. 28
	理学部	教授	清水正明	連合王連邦 ドイツ連邦	国際鉱床地質学会に出席, 研究発表, 討議	11. 8. 21) 11. 9. 16
	人文学部	教授	鈴木敏昭	アメリカ合衆国	研究計画のレビューを受ける	11. 8. 23) 11. 8. 31
	経済学部	教授	飯田剛史	アメリカ合衆国	北米諸地域におけるアジア系移民社会形成と民族関係の展開に関する研究	11. 8. 25) 12. 6. 24
	教育学部	助教授	市川文彦	ジャマイカ ケイマン諸島 連合王	極小国家の「国家的アイデンティティ」の社会的・経済的・文化的基盤に関する研究	11. 8. 25) 11. 9. 14
	工学部	教授	熊澤英博	ポーランド	湿式錯体法によるNOとSO ₂ の同時除去に関する研究打合せ	11. 8. 26) 11. 9. 7

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	教育学部	教授	清水建次	フランス	希土類金属間化合物の磁性に関する研究	11. 8. 31) 11. 10. 31
	人文学部	教授	藤本幸夫	台湾	朝鮮本の調査, 研究	11. 8. 31) 11. 9. 25
海外研修	工学部	助教授	佐藤雅弘	オーストラリア	マイクロ波デバイスの解析に関する研究	11. 8. 1) 11. 8. 4
	理学部	助教授	若杉達也	アメリカ合衆国	第16回国際植物科学会議に出席, 研究発表	11. 8. 1) 11. 8. 8
	人文学部	助教授	大野圭介	中国	第4回詩経国際学術検討学会に出席	11. 8. 2) 11. 8. 12
	理学部	助教授	松島房和	アメリカ合衆国	遠赤外分子分光法の調査・研究	11. 8. 2) 11. 8. 12
	人文学部	教授	中河伸俊	アメリカ合衆国	アメリカ社会問題学会大会に参加, 研究報告	11. 8. 4) 11. 8. 10
	工学部	教授	広瀬貞樹	ハンガリー	AFL '99に出席, 研究発表	11. 8. 5) 11. 8. 18
	工学部	助教授	佐藤雅弘	オーストラリア	マイクロ波デバイスの解析に関する研究	11. 8. 6) 11. 8. 22
	教育学部	助教授	堀田朋基	カナダ	第17回国際バイオメカニクス学会に出席	11. 8. 7) 11. 8. 14
	教育学部	助教授	藤原孝章	連合王国	英国におけるグローバル教育の視察, 教材の資料収集	11. 8. 15) 11. 8. 27
	教育学部	教授	長谷川 総一郎	ハンガリー	ムカチョボ地方民族彫刻調査	11. 8. 15) 11. 8. 25
	工学部	助手	山本辰美	大韓民国	第8回アジア太平洋化学工学会議(APCCHE99)に出席, 研究発表, 情報収集	11. 8. 16) 11. 8. 20
	教育学部	教授	古川政明	スウェーデン	高齢化社会における市街歩行環境デザイン実地調査及び視覚資料の収集	11. 8. 22) 11. 9. 10
	経済学部	助教授	岸本寿生	マレーシア	アジア通貨危機後の日系企業の戦略転換に関するヒアリング調査	11. 8. 24) 11. 9. 14
	経済学部	助教授	長谷川 隆	ドイツ連邦	ドイツ民族の研究(日本民族との比較)	11. 8. 25) 12. 8. 24
	理学部	助教授	大澤 力	フランス	5th International Symposium on Heterogeneous Cathodysis and Fine Chemicals に出席, 発表	11. 8. 27) 11. 9. 6
	工学部	教授	チホデーエフ セルゲイ	ドイツ連邦	封じ込められた系の励起子に関する第6回国際会議に出席, 研究発表	11. 8. 27) 11. 9. 12

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
海外研修	人文学部	講 師	青 木 恭 子	ロ シ ア 連 邦	資料収集	11. 8. 28) 11. 10. 4
	経済学部	講 師	大 西 吉 之	オ ラ ン ダ	オランダ社会史(18世紀)に関する文献調査及び史料調査	11. 8. 29) 11. 9. 26
	経済学部	助教授	新 里 泰 孝	連 合 王 国	英国花き球根産業に関する資料収集	11. 8. 30) 11. 9. 12
	教育学部	助教授	広 瀬 信	連 合 王 国	技術者養成史に関する研究資料の収集	11. 8. 31) 12. 2. 25

職 員 消 息

《新任者住所》

部 局	職	氏 名
教 育 学 部	附 属 学 校 臨 時 用 務 員	仲 谷 千 鶴 子
理 学 部	教 授	山 本 浩 司
水素同位体科学 研究センター	講 師	鳥 養 祐 二
留学生センター	助 教 授	出 原 節 子
〃	〃	深 澤 のぞみ

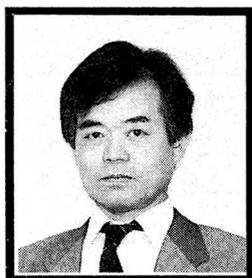
《住所変更(住居表示変更を含む。)

部 局	職	氏 名
人 文 学 部	助 教 授	末 岡 宏
〃	学 務 第 一 係 学 生 主 任	畠 山 節 子
教 育 学 部	教 授	山 西 潤 一
〃	助 教 授	小 林 真
〃	附 属 小 学 校 教 諭	草 野 剛
〃	附 属 小 学 校 教 諭	沼 崎 信 行
経 済 学 部	教 授	志 津 田 一 彦
理 学 部	文 部 技 官	狐 塚 佳 子

計

報

富山大学工学部教授 西塚典生氏逝去



本学工学部教授西塚典生氏が、平成11年8月2日に逝去されました。享年59歳。

同氏は、昭和15年2月6日山形県に生まれ、同37年3月山形大学工学部電気工学科を卒業し、同年4月東北大学大学院工学研究科修士課程入学、同39年3月同大学院修了、同年4月同大学院工学研究科博士課程に進学、同42年3月同大学院を修了し、工学博士の学位を取得されました。同年4月山形大学助教授工学部に採用され、平成2年4月富山大学教授工学部に昇任されました。爾来30有余年の永きにわたり教育・研究に、そして大学・学部の運営に専念する傍ら、有能な技術者の輩出に大きく貢献し続けてきたところ、平成11年8月2日身体の異常を訴え、直ちに救急車により病院に搬送され関係者の懸命の救命努力にもかかわらず、虚しく「心筋梗塞」により逝去されたものです。

この間、同氏は、永年にわたって情報伝送・通信工学の教育・研究に努め、学生への指導にあたっては常に情熱を捧げ、工業技術者、教育研究者等多数の優秀な人材を各界に送り出し、その多くは工業界の第一線において活躍しています。新たに情報分野を取り入れた発足間もない新学科、電子情報工学科知識情報工学講座の教授として平成2年4月山形大学から赴任し、同学科の充実発展に精励すると共に学生の教育・研究にあっては、厳正な教育姿勢を保ちながら懇篤な指導に当たり、その温厚で礼儀正しい人柄は幾多の学生から尊敬されてきました。その後、電子情報工学科に改組計画が浮上したときは、学科の将来を見据えた教育・研究及び人材育成のあり方について議論し、連日にわたる会議において、その中心的な役割を果たされました。

また、平成6年4月、これまでの大学院工学研究科修士課程を発展拡大して、同研究科博士前期課程及び博士後期課程が設置されましたが、博士後期課程の設置にあたっては、独創的かつ学際的な研究の推進と、社会人技術者及び研究者の再教育による高度技術者・

研究者の養成を行う必要性から、その実現に向けて目覚ましい活躍を果たされました。

さらに、平成10年4月理学と工学を融合させた大学院理工学研究科の設置に際しても、新たな学際領域の構築と独創的な科学技術の発展を促進し、学術の一層の充実を図るため、学科の教授らと精力的に会議・検討を重ねその実現に尽力されました。

同氏は、平成10年10月から、富山大学自己点検評価委員会研究活動専門委員として、教員の研究部門における点検のあり方について積極的に取り組み、その責務を果たす途上にありました。

一方、研究業績面にあっては、同氏は、周波数特性の広帯域な通信用変成器に関する研究、漢字パターンの符号化法に関する研究、ファジィ理論の交通制御への応用に関する研究等を行っており、特に、広帯域な変成器の研究に関しては同氏のライフワークとも言えるものであり、従来から取り扱われてきた集中定数論的解析手法と異なる分布定数論的手法を提案し、その研究成果を「通信用変成器に関する研究」としてまとめ、昭和42年3月東北大学から工学博士の学位を取得されました。

近年は、より機能を有する結合線路形変成器に関する研究を進め、非対称な巻線比を有する三巻線変成器の伝送姿態を分布定数論的に解析し、独立した3伝送姿態の伝送定数が解析的に求められることを示すことで、三巻線変成器の設計の基礎を与えています。さらに、結合4本線で構成される単巻線変成器の解析や平衡-不平衡変成器で保証された三巻線のパルス応答についても実験結果とよく一致する解析手法を示し、これをさらに発展させて、小型でより広帯域な周波数特性を有する巻線比 $N:1$ の変成器が可能であることを実験と理論の両面から検討しています。これらの研究は、独立した多数の伝送姿態を同時に伝送できる通信用変成器の実現方法を示すこと、特に高周波での伝送特性に優れた変成器の実現方法を示すことで、通信の分野に大きく貢献しました。

以上、同氏の研究業績は著書1編、学術論文46編、

参考論文124編及び平衡・不平衡変換変成器装置に関しての特許（1件）と多く、その業績は高く評価されています。

他方、学会活動にあつては、昭和54年5月から2年間電気学会東北支部評議員、昭和60年5月から2年間電子情報通信学会東北支部評議員、平成4年6月から2年間同学会北陸支部評議員を歴任し、学会の運営と発展に尽力されました。

地域・社会活動においては、平成9年6月から富山技術開発財団RSP事業マイクロマシニング研究会委員として、富山県の電気・機械工業の技術水準の向上と地域産業のシステム開発能力の育成に貢献されました。

富山大学及び地域社会にとって同氏を失った打撃は、計り知れないものがあり痛恨の極みであります。ここに同氏の御功績を偲び顕彰するとともに、御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

富山大学名誉教授 守屋獅郎氏逝去



本学名誉教授守屋獅郎氏が、平成11年8月16日に逝去されました。享年93歳。

同氏は、明治38年12月23日、京都府に生まれ、昭和2年3月東京外国語学校本科英語科を卒業し、同年4月山形県立長井中学校教諭心得となり、同年10月同校教諭、同4年3月富山県立神通中学校教諭、同10年7月富山高等学校教諭、同16年4月同校教授を歴任し、同24年5月富山高等学校の富山大学包括に伴い、同年6月富山大学助教授兼職、同25年3月富山大学文理学部助教授となり、同32年8月富山大学文理学部教授に昇任、同46年3月31日限り停年により退職され、同年4月本学発展のために尽力した功績により、富山大学名誉教授の称号が授与されました。

富山大学退職後は、富山女子短期大学教授に招聘され、同47年3月31日同大学を退職、引き続き同年4月金沢医科大学教授に招聘され、同53年3月31日限り停年により同大学を退職されました。

この間、多年にわたり高等教育に貢献した功績により、昭和51年11月3日勲二等瑞宝章が授与されました。

また、同氏は、人格清廉、資性温厚かつ誠実にして識見高く、山形県立長井中学校に奉職以来51年の永きにわたり教育・研究に一身を奉じ、卓越せる教育者・研究者として人々から信頼と尊敬を受け、豊かな学識と深い温情をもって生徒並びに学生の教育と指導にあたり、数多くの有為な人材の育成に貢献されました。

同氏の研究分野は、主として英語における法の表現の研究であります。文副詞を含む表現 Possibly (or

Certainly) he is ill. が It is possible (or certain) that he is ill. といった形容詞表現, There is a possibility (or certain-ly) that he is ill. といった名詞表現, さらに He may (or must) be ill. といった助動詞を含む表現と密接な関係にあり、それを「法」という概念によって捉えることができたこととした研究は同分野のバイオニア的研究であり、その後の研究の指針となりました。また、英語の音声に関して、科学的かつ斬新なアプローチを試みており、長母音の二重母音化現象を、昭和30年代に早くも捉えており、常に時代をリードする研究を行い、その後の研究の発展に寄与されました。さらに、英語の統語構造を、形式的ならびに機能的な二つの側面から捉えることによって、初めて意味を十分に把握することができるとした研究は、現代の英語学を取るべき姿勢に対して、指導的な役割を果たされました。

さらに、英語の辞書の分野において、三省堂の新クラウン英和辞典、カレッジクラウン英語辞典はつとに一世をふうびしたものであり、研究社の新英和大辞典は日本の学問の世界に燦然と輝く金字塔であり、これらは版を改めて今日に至っているが、同氏がこれらの辞書の一部執筆ならびに校閲を行ったことは、研究・教育界への貢献に絶大なものがあります。

また、研究・教育の面で多大の成果をあげられたばかりでなく、永らく日本英文学会会員として研究活動する一方、日本英文学会中部支部富山県理事として学会に寄与するとともに、富山県英語教育連絡協議会の講師を務め、地域語学教育の向上に貢献されました。

ここに同氏の御功績を偲び顕彰するとともに、御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

主 要 行 事

本 部

- 8月2日 第9回将来計画委員会
第2回国際交流会館運営委員会
- 3日 大学説明会（五幅キャンパス）
- 6日 大学説明会（KKR三の丸）
- 9日 富山県と富山大学との懇談会
- 10日 第117回構内交通対策委員会
北陸地区インターンシップ推進連絡会議
（富山県民会館）
- 24日 平成12年度大学入学者選抜大学入試センター
試験入試担当者連絡会議（愛知教育大学）
- 25～27日 東海・北陸地区国立学校等教室系技術職員
合同研修（電気・電子コース）（本学当番）
- 26日 英会話研修閉講式
第118回構内交通対策委員会
- 27日 北陸地区会計事務担当者連絡協議会（本学当
番）
- 30～31日 国立大学等啓発セミナー（国立オリンピック
記念青少年総合センター）
- 30日 第1回水質保全センター自己点検評価委員会
- 31日 東海・北陸地区国立学校等技術専門職員研修
（静岡大学）（～9月3日）

教 育 学 部

- 8月2日 学部学生生活委員会
（7月28日～）
- 8月12日 平成11年度学校図書館司書教諭講習
- 21～22日 富山大学親子フェスティバル
- 30日 附属小学校及び附属中学校第2学期始業式

経 済 学 部

- 8月6日 学部自己点検評価委員会

理 学 部

- 8月10日 学部自己点検評価委員会
- 23日 学部自己点検評価委員会

工 学 部

- 8月2日 将来計画に係る検討委員会
学生生活委員会
- 6日 北陸3大学スポーツ交歓会（福井大学）
- 23日 将来計画に係る検討委員会
- 31日 将来計画に係る検討委員会
平成12年度大学院理工学研究科博士（前・後
期）課程入学試験（博士前期課程 ～9月1
日）

附 属 図 書 館

- 8月30日 平成11年度北陸地区国立大学附属図書館
会計担当者会議（本学当番）

地 域 共 同 研 究 セ ン タ ー

- 8月20日 第4回運営委員会（持ち回り）
- 30日 先端技術研修（新素材コース）（～9月3日）

お知らせ

人事院勧告の概要

平成11年8月11日、人事院は国会と内閣に対し、国家公務員法、一般職の職員の給与に関する法律等の規定に基づき、一般職の職員の給与について報告し、併せて給与の改定について勧告するとともに、公務運営の改善について報告しました。

給与勧告の骨子及び公務運営の改善に関する報告の骨子並びに本学関連の俸給表は、以下のとおりです。

給 与 勧 告 の 骨 子

○ 給与勧告のポイント ー 職員の平均年間給与、初の減少（△9.5万円（△1.5%））

- ① 指定職・本省庁課長級はベア見送り、一般職員に限り0.28%のベア
- ② ボーナスの引下げ（△0.3月分）
- ③ 福祉職俸給表の新設

○ 本年給与改定の考え方

<一般の職員はベア>

① 民間の改定状況

約6割の事業所でベア実施、雇用調整等を行いつつ、低率であっても給与の改善に努力

- ② 労使交渉による四現業職員（約31万人）はベア敢然実施（0.25%、747円）
- ③ 省庁再編、定員削減等公務におけるスリム化の改組などを考慮

<指定職・本省庁課長等はベアを見送り>

- ① 民間での管理職給与の抑制措置の状況（約4割）
- ② 行政事務の責任を担う者として経済・雇用情勢を厳しく受け止める姿勢

<ボーナスは民間の支給月数に見合うよう引下げ>

- * 規模の小さい事業所（企業規模30人以上100人未満）についても特別に調査
- * 有識者、中小企業経営者等の意見を広く聴取（東京、全国26都市）

1 給与勧告の意義

労働基本権制約の代償 労使交渉に代わるもの

公務員の士気、人材の確保、労使関係の安定等能率的公務運営の基盤

民間準拠方式 市場原理による決定が困難、民間給与に均衡させるのが最も合理的

身分保障と給与 厳しい服務規制を伴い、公務の中立性・安定性の確保

- * 非現業の一般職国家公務員（約50万人）を対象（地方公務員、学校・病院職員などを含む合計約750万人に影響）

2 官民比較の方法

約7,600事業所の約47万人の個人別給与を実施調査（完了率約95%）

<月例給> 官民の実際に支払われた4月分給与を調査（ベア中止，賃金カットの企業の状況も反映）し，職種，役職段階，年齢など給与決定要素の同じ者同士を比較

<ボーナス> 過去1年間の民間の支給実績（支給月数）と公務の年間支給月数を対比

3 官民較差（月例給）

<較差> 1,054円 0.28%〔行政職(→)・(←)現行給与 370,818円 平均年齢 40.3歳〕

<配分> 俸給 979円 はねかえり分 55円 計 1,034円

4 改定の内容

(1) 俸給表 <中堅層に重点配分，給与カーブの「早期立ち上がり型」の一層の推進>

① 行政職(←)の初任給（勤務地に応じて調整手当を加算）

I種 184,200円（据置き） II種 174,400円（現行 174,200円） III種 141,900円（現行 141,700円）

② 行政職(←) 10級及び11級はベアの見送り，9級は抑制的な改定

引上げ額（200円～2,000円）

③ 各俸給表 行政職との均衡を基本に改定 上位の級について改定の見送り又は抑制

④ 福祉職俸給表の新設 生活指導員，保育士等に対し職務の専門性にふさわしい処遇

(2) 期末・勤勉手当等 年間支給月数 5.25月分 → 4.95月分（期末手当で削減）

本年度（6月期 2.20月分），12月期 2.50月分 → 2.25月分，3月期 0.55月分 → 0.50月分

来年度 6月期 2.05月分，12月期 2.35月分、3月期 0.55月分

(3) 育児休業者への期末・勤勉手当等 勤務実績がある者に在職期間等に応じて支給

(4) その他

- ・ 宿日直手当 一般の宿日直 4,000円 → 4,200円 業務当直 最高 7,000円 → 7,200円 等

- ・ 調整手当 支給地域等の見直しについて引き続き検討

[実施時期] 平成11年4月1日（福祉職俸給表，育児休業者への期末・勤勉手当等の支給及び宿日直手当 平成12年1月1日）

5 給与制度の改善方向

職務や個人の能力・実績を反映した重点的な給与配分

専門的なスタッフ職を活用した多様な給与処遇

俸給体系の基本的見直し（号俸構成，昇給制度等）

【参考】モデル給与例

（単位：円）

			勤告前		勤告後		年間給与の減少額
			月額	年間給与	月額	年間給与	
係 員	25歳	独 身	188,500	3,252,000	188,900	3,202,000	△ 50,000
	30歳	配 偶 者	242,400	4,162,000	243,600	4,110,000	△ 52,000
係 長	35歳	配偶者子1	325,500	5,669,000	327,200	5,596,000	△ 73,000
	40歳	配偶者子2	364,200	6,339,000	365,900	6,253,000	△ 85,000
地方機関課長	50歳	配偶者子2	488,720	8,392,000	489,380	8,257,000	△135,000
本省課長	45歳	配偶者子2	683,900	12,224,000	据置き	11,992,000	△232,000
本省局長	—	—	1,148,000	20,393,000	据置き	19,903,000	△490,000
事務次官	—	—	1,507,520	26,780,000	据置き	26,136,000	△644,000

公務運営の改善に関する報告の骨子

時代の要請にこたえ得る柔軟で開かれた人事管理システムの構築に向けた諸施策を展開

1 公務員倫理の確立

- ・年次報告書で提起した不祥事再発防止施策を着実に実施。公務員倫理法により人事院に求められる役割を果たし、不祥事の発生防止に努める。幹部職員に対し新たに行政フォーラムを実施

2 多様な有為の人材の確保

- ・採用試験における人物重視の具体的措置を検討。Ⅰ種技術系試験区分再編後の試験内容を検討
- ・専門的な知識経験等を有する民間人材の任期付採用システムについて検討

3 能力・適性に基づく人事管理の推進

- ・事務官・技官等の別による固定的人事管理を見直し、能力・適性に応じた育成・昇進管理を推進
- ・新たな行政研修を実施する等Ⅱ種・Ⅲ種等採用職員の幹部職員への登用を推進
- ・能力、実績等の評価・活用の在り方について、研究の体制を整え、専門的見地から幅広く検討

4 高度で幅広い能力を持つ公務員の育成

- ・政策立案演習の強化、オンライン研修の実施などによる公務員研修の充実・高度化
- ・内外の大学院への進学等のための休業制度について多角的な観点から検討

5 勤務環境の整備等

- ・360時間を上限目安とする指針の下、引き続き超過勤務を縮減
- ・相談体制の強化などメンタルヘルス対策を拡充。精神疾患等に係る迅速な公務災害補償を実施

6 適正な退職管理

- ・人事制度・運用の見直し等を通じ、計画的に退職年齢を引上げ。当面、Ⅰ種採用職員の過半数が53歳以前で退職する現状を是正。再就職状況の公表や再就職後の接触規制を検討
- ・再任用の円滑実施に向け各省庁の取組を要請。公務外への就職希望者向け情報提供システムを検討

7 国立大学教官等の技術移転事業者（TLO）等の役員兼業の検討

- ・国立大学教官等のTLOの役員兼業を認め、遅くとも平成12年4月1日までに施行
- ・TLO以外の営利企業の役員兼業について多面的に検討

8 女性の採用・登用の拡大等

- ・女性の採用・登用の拡大に積極的に取り組むことが重要。支援施策等を幅広く検討
- ・セクシュアル・ハラスメント防止諸施策の実施等により勤務環境を整備

9 特定独立行政法人の人事管理制度の整備

- ・国家公務員型の独立行政法人の職員の採用、服務規制等について弾力化措置を検討

別記第1

行政職俸給表

イ 行政職俸給表(一)

職務 の級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級	9 級	10 級	11 級
号 俸	俸給月額										
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
1	—	—	189,000	225,000	243,100	264,300	284,300	306,300	341,300	380,200	430,100
2	137,500	174,400	196,300	233,300	252,300	273,500	293,800	316,600	353,700	392,800	444,800
3	141,900	181,400	203,800	242,000	261,700	282,800	303,600	327,100	366,100	405,400	459,500
4	146,500	188,900	211,300	251,100	270,500	292,100	313,700	337,800	378,200	418,000	474,300
5	151,800	195,000	219,500	260,400	279,300	301,500	323,700	348,500	390,100	430,700	488,800
6	157,700	200,500	227,600	269,100	288,200	311,100	333,900	359,200	402,000	443,100	503,200
7	163,800	206,000	235,600	277,800	297,000	320,700	344,100	369,300	413,800	455,300	517,500
8	170,200	211,400	243,200	286,300	305,700	330,300	354,100	379,100	425,800	466,900	531,800
9	174,800	216,400	249,900	294,700	314,400	339,900	363,800	388,800	437,600	478,300	546,100
10	178,600	220,900	256,400	302,900	322,900	349,400	373,300	398,400	448,700	489,400	560,400
11	181,800	225,400	262,800	310,800	331,200	359,000	382,600	408,000	458,800	499,200	571,800
12	184,700	229,800	268,500	318,300	338,900	368,400	391,600	417,600	468,500	508,200	579,200
13	187,500	234,100	274,100	325,500	346,500	377,600	400,300	426,600	476,400	515,800	586,300
14	189,800	237,400	279,300	332,500	353,800	386,600	407,400	434,700	483,100	522,900	592,500
15	191,900	240,500	284,500	338,800	359,600	394,300	413,100	440,700	489,800	527,500	597,300
16	193,500	243,600	289,100	344,500	364,500	400,000	418,000	446,600	494,400		
17		246,600	293,300	348,200	368,500	405,200	422,300	450,500	498,900		
18		249,500	297,000	351,600	371,900	408,700	426,000	454,400	503,200		
19		251,500	300,300	354,900	374,900	412,300	429,700	458,300			
20			302,700	357,200	377,800	415,800	433,300	462,000			
21			304,700	359,500	380,400	419,300	437,000	465,800			
22			306,700	361,800	383,000	422,800	440,700				
23			308,700	364,100	385,600	426,300					
24			310,700	366,400	388,200	429,900					
25			312,700	368,800	390,900						
26			314,600	371,100	393,700						
27			316,500	373,400							
28			318,500	375,800							
29			320,500								
30			322,500								
31			324,500								
32			326,500								

備考(一) この表は、他の俸給表の適用を受けないすべての職員に適用する。ただし、第二十二条及び附則第三項に規定する職員を除く。

(二) 3級の1号俸を受ける職員のうち、新たにこの表の適用を受けることとなった職員で人事院規則で定めるものの俸給月額は、この表の額にかかわらず、184,200円とする。

ロ 行政職俸給表(二)

職務の級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級
号 俸	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額
	円	円	円	円	円	円
1	—	168,600	187,800	206,200	233,400	262,600
2	123,000	175,500	193,800	212,500	240,500	270,100
3	127,000	181,600	199,900	219,200	247,600	277,700
4	130,900	187,700	206,100	226,300	254,900	285,900
5	134,800	193,100	212,400	233,300	261,900	294,200
6	139,000	198,300	218,900	240,200	268,900	302,800
7	143,800	203,700	225,800	246,600	275,700	311,400
8	148,700	209,300	232,200	252,600	282,100	319,800
9	154,800	214,800	238,600	258,500	288,000	327,900
10	161,000	220,100	244,500	264,400	293,600	335,700
11	168,300	225,800	250,200	269,900	299,200	343,400
12	175,100	231,000	255,900	275,200	304,700	350,700
13	181,100	235,900	261,200	280,300	310,100	357,900
14	186,700	240,900	266,400	285,400	315,200	364,300
15	191,500	245,700	271,400	290,000	320,000	370,500
16	196,200	249,900	276,000	295,100	324,700	376,600
17	200,900	254,100	280,800	299,200	329,100	382,400
18	205,000	258,000	285,500	302,900	333,500	387,800
19	208,800	261,200	290,000	306,100	337,600	392,900
20	211,900	263,700	293,700	309,100	341,400	397,500
21	215,000	265,800	296,300	312,000	344,900	402,100
22	218,100	267,800	298,700	314,700	348,100	406,400
23	221,000	269,500	301,100	317,400	350,600	409,800
24	223,800	271,100	303,200	320,000	353,100	
25	226,100	272,700	305,200	322,400	355,500	
26	228,300	274,400	307,100	324,600	357,900	
27	230,500	276,100	309,000	326,700	360,300	
28	232,700	277,800	310,900	328,800		
29	234,700	279,400	312,800	331,000		
30	236,700	281,100	314,800	333,200		
31	238,600	282,700	316,800	335,400		
32	240,400	284,400				
33		286,100				

備考 この表は、機器の運転操作、庁舎の監視その他の庁務及びこれらに準ずる業務に従事する職員で人事院規則で定めるものに適用する。

教育職俸給表

イ 教育職俸給表(一)

職務の級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級
号 俸	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額
	円	円	円	円	円
1	—	—	260,500	294,500	378,000
2	164,400	207,300	273,900	309,900	393,700
3	172,500	216,500	287,100	325,500	406,500
4	182,800	226,000	301,200	341,000	419,200
5	193,700	235,900	315,400	356,600	431,600
6	201,700	245,600	329,600	372,200	443,600
7	209,500	258,800	343,300	387,700	455,600
8	217,500	271,800	357,000	399,200	467,500
9	226,200	284,800	370,600	410,200	479,200
10	236,000	297,100	380,800	420,200	490,800
11	244,200	309,400	391,000	429,500	502,500
12	253,000	321,500	400,900	438,300	514,100
13	261,400	329,700	409,800	447,000	525,800
14	269,500	336,800	418,500	454,900	537,300
15	277,100	343,700	426,400	462,500	548,000
16	284,500	350,400	434,000	469,800	557,400
17	291,400	357,000	441,300	476,200	566,800
18	298,000	363,000	448,600	482,100	576,100
19	304,500	369,000	454,800	487,700	585,200
20	310,600	374,800	459,800	493,300	593,800
21	316,500	380,400	464,400	498,800	600,300
22	321,500	386,000	467,600	504,200	605,400
23	326,200	390,800	470,800	509,400	610,200
24	330,700	394,900	473,900	513,500	
25	334,300	397,800	477,000	516,900	
26	337,500	400,700	480,100	520,400	
27	340,600	403,600	483,300		
28	343,400	406,400	486,500		
29	345,600	409,200			
30	347,700	412,000			
31	349,800	414,800			
32	351,900	417,700			
33	353,900	420,700			
34	356,000	423,700			
35	358,100				
36	360,200				
37	362,400				
38	364,800				

備考 この表は、大学及びこれに準ずるもので人事院の指定するものに勤務する教授、助教授、講師、助手その他の職員で人事院規則で定めるものに適用する。

ロ 教育職俸給表(二)

職務の級	1 級	2 級	3 級	4 級
号 俸	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額
	円	円	円	円
1	—	—	320,900	418,500
2	150,600	195,300	335,000	428,700
3	157,100	202,500	348,600	438,500
4	164,400	210,100	359,100	448,300
5	172,500	217,900	369,500	458,000
6	181,700	226,100	380,100	467,200
7	191,800	237,600	390,200	476,300
8	198,700	249,800	400,200	485,000
9	206,000	262,000	410,100	494,300
10	213,000	275,000	419,600	503,500
11	220,400	288,200	428,700	513,800
12	228,200	301,700	437,600	523,100
13	236,900	315,700	446,100	531,800
14	244,900	329,700	454,000	539,400
15	253,000	342,700	461,700	544,000
16	261,200	352,900	469,300	
17	269,200	363,100	477,600	
18	277,100	373,200	485,900	
19	284,900	382,800	494,000	
20	292,000	392,300	502,100	
21	298,700	401,500	510,200	
22	305,000	409,600	517,200	
23	311,200	417,000	521,400	
24	317,200	424,400		
25	323,200	431,400		
26	329,100	437,800		
27	334,700	443,400		
28	340,200	448,900		
29	345,400	453,800		
30	349,200	458,300		
31	352,300	462,700		
32	355,200	467,000		
33	358,100	470,000		
34	360,100			
35	362,100			
36	364,000			
37	365,800			
38	367,600			
39	369,800			
40	372,000			

備考(一) この表は、高等学校及びこれに準ずるもので人事院の指定するものに勤務する校長、教頭、教諭、養護教諭、助教授、実習助手その他の職員で人事院規則で定めるものに適用する。

(二) この表の適用を受ける職員のうち、その職務の級が3級である職員で人事院規則で定めるものの俸給月額は、この表の額に8,200円をそれぞれ加算した額とする。

ハ 教育職俸給表(三)

職務の級	1 級	2 級	3 級	4 級
号 俸	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額
	円	円	円	円
1	—	—	278,500	413,300
2	150,600	166,600	292,500	422,400
3	157,100	175,000	306,700	431,100
4	164,400	184,200	320,900	439,800
5	172,500	195,300	335,000	448,200
6	181,700	202,500	348,600	456,200
7	191,800	210,100	359,100	464,100
8	198,700	217,900	369,500	471,500
9	205,900	226,100	379,900	478,700
10	212,800	237,600	389,000	485,600
11	219,800	249,800	397,700	492,800
12	227,100	262,000	406,100	500,100
13	234,900	275,000	414,400	506,800
14	242,500	288,200	422,200	512,100
15	249,700	301,700	429,900	516,200
16	256,900	315,700	437,300	
17	263,700	329,700	444,300	
18	270,300	342,700	451,000	
19	276,900	352,900	457,700	
20	282,900	362,900	463,800	
21	288,300	372,900	469,300	
22	293,400	381,400	474,100	
23	298,200	389,800	478,400	
24	302,500	397,600	482,200	
25	305,900	404,700	485,400	
26	309,300	411,200	488,400	
27	312,700	417,000		
28	315,200	422,400		
29	317,000	427,400		
30	318,800	432,300		
31	320,600	437,100		
32	322,400	441,300		
33	324,300	445,500		
34		449,700		
35		453,300		
36		455,900		

備考(一) この表は、中学校、小学校、幼稚園及びこれらに準ずるもので人事院の指定するものに勤務する校長、園長、教頭、教諭、養護教諭助教諭その他の職員で人事院規則で定めるものに適用する。

(二) この表の適用を受ける職員のうち、その職務の級が3級である職員で人事院規則で定めるものの俸給月額は、この表の額に8,000円をそれぞれ加算した額とする。

□ 医療職俸給表(二)

	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級
号 俸	俸給月額							
	円	円	円	円	円	円	円	円
1	—	—	211,100	235,700	273,500	316,600	353,500	419,200
2	142,100	180,400	218,500	244,200	283,200	327,100	365,500	431,600
3	147,700	187,200	226,400	252,900	292,900	337,500	377,500	444,000
4	154,600	194,100	234,500	261,700	302,800	347,800	389,400	456,400
5	161,500	201,100	242,900	270,400	312,700	358,100	401,200	468,700
6	169,200	207,900	251,400	279,100	322,600	368,000	413,000	481,000
7	176,900	214,900	260,000	288,000	332,700	377,800	425,100	493,300
8	183,400	221,900	268,600	296,900	342,600	387,600	437,100	505,800
9	189,900	228,900	277,200	305,900	352,300	397,400	448,600	518,600
10	195,500	236,400	285,700	314,900	361,800	407,200	459,000	531,400
11	201,100	243,500	294,200	323,700	371,100	417,000	468,800	539,300
12	206,500	250,400	302,500	332,200	379,800	426,000	476,900	546,700
13	211,800	257,000	310,600	340,200	388,600	434,300	483,500	553,600
14	216,700	263,600	318,500	348,000	396,600	440,500	490,100	560,400
15	221,200	269,300	326,000	355,400	402,800	446,500	496,900	565,800
16	225,700	274,800	333,200	361,400	408,800	450,500	501,100	570,300
17	230,000	280,000	339,900	366,600	413,500	454,400	505,400	
18	234,300	285,200	346,000	371,300	418,200	458,300		
19	237,700	289,800	350,100	374,900	422,100	462,000		
20	240,800	294,300	354,200	378,400	425,700	465,800		
21	243,800	297,600	357,800	381,700	429,200			
22	246,200	300,100	360,500	384,700	432,700			
23	248,100	302,500	363,200	387,500	436,300			
24		304,300	365,600	389,900				
25		306,100	367,900	392,300				
26		307,900	370,000	394,900				
27		309,800	372,100	397,700				
28		311,700	374,300					
29			376,500					
30			378,900					

備考 この表は、病院、療養所、診療所等に勤務する薬剤師、栄養士その他の職員で人事院規則で定めるものに適用する。

ハ 医療職俸給表(三)

職務 の級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級
号 俸	俸給月額						
	円	円	円	円	円	円	円
1	—	—	226,900	250,800	283,000	320,700	354,500
2	155,500	182,900	234,200	258,300	291,700	330,500	366,500
3	161,100	191,500	242,800	265,900	300,400	340,800	378,500
4	167,100	200,900	250,400	273,500	309,100	351,400	390,500
5	173,400	207,000	257,900	281,200	318,000	361,800	402,400
6	181,800	213,300	265,400	289,200	326,800	371,700	414,700
7	190,400	219,600	272,900	297,200	335,500	381,600	427,200
8	199,200	226,500	280,400	305,300	344,000	391,400	438,900
9	204,600	233,800	288,000	313,500	351,800	401,300	450,300
10	210,100	242,000	295,800	321,700	359,600	411,400	461,200
11	215,700	249,500	303,600	329,700	367,300	421,700	471,800
12	221,400	257,000	311,400	337,400	374,900	431,200	481,200
13	227,400	264,500	318,900	344,700	382,600	439,900	489,300
14	233,600	272,000	326,200	351,800	390,200	448,700	497,300
15	239,600	279,400	333,300	358,800	397,800	457,400	505,200
16	245,400	286,800	339,900	365,600	405,000	465,400	512,400
17	251,200	294,200	346,400	372,100	411,900	473,400	517,300
18	256,900	301,500	352,500	378,400	418,000	481,200	521,600
19	262,700	308,600	358,500	384,600	422,800	488,400	525,600
20	268,300	315,700	364,500	390,400	427,100	493,200	
21	273,500	322,700	370,400	395,800	431,400	497,400	
22	278,600	328,900	376,100	400,800	435,400	501,100	
23	282,900	334,900	381,300	404,700	435,300		
24	287,500	340,900	386,400	408,200	438,800		
25	291,600	346,500	390,600	411,500	441,500		
26	295,700	350,400	393,900	414,900			
27	299,300	353,900	397,000	417,900			
28	302,600	357,000	399,900	420,500			
29	305,100	359,700	402,700				
30	307,200	361,800	405,500				
31	309,000	363,900	408,000				
32	310,900	365,900					
33	312,900	367,900					
34	314,900	370,000					
35	316,800	372,100					
36	318,700	374,400					
37	320,600	376,800					
38	322,700	379,200					
39	324,700						
40	326,800						
41	328,800						

備考 この表は、病院、療養所、診療所等に勤務する保健婦、助産婦、看護婦、准看護婦その他の職員で人事院規則で定めるものに適用する。



▲ 大学説明会に集う高校生達（8月3日黒田講堂前）

編 集	富山大学庶務部庶務課 富山市五福3190
印刷所	あけほの企画株式会社 富山市住吉町1丁目5-18 電話(424)1755(代)